

第1学年 音楽科学習指導案

日時 平成30年11月6日(火) 5校時
学級 一関市立東山中学校 1年B組
(男子 8名 女子 14名 計 22名)
場所 音楽室
授業者 教諭 伊藤 淳子

- 1 題材名 「詩の内容と曲想のかかわりについて、旋律やリズム、強弱等をもとに知覚・感受し、表現を工夫して歌おう」

(教材名 『この日々を、この時代を』)

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領に示された指導事項のうち、第1学年の内容「A表現(1)ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと」「A表現(1)ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと」と、共通事項「(1)ア リズム、旋律、強弱、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じること」「(1)イ 音楽を形作っている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること」から設定した。A表現(1)の指導事項では、「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって表現を工夫して歌う能力を育てる」ことをねらいとしている。「歌詞の内容を感じ取る」ということは、歌詞の意図する内容や情景のイメージをもつことであると考えられる。「曲想」は、その音楽固有の表情、雰囲気、気分や味わいのことを指す。

教材曲「この日々を、この時代を」は、中学生の心情に寄りそった詩であり、言葉の繰り返しが多く、内容が理解しやすい。また、1・2番〔前半〕と3番〔後半〕を比較してみると、音楽を形作っている要素である旋律(順次進行と躍動進行)やリズム、強弱、ピアノ伴奏、形態(斉唱と二部合唱)における違いが明確であり、それらを比較することで音楽の諸要素の効果的な働きが生み出す特質や雰囲気を感じさせることができる。さらに、その働きと表現を関わらせながら、思いや意図をもって歌唱表現の工夫へとつなげていくことができる教材である。

(2) 生徒について

生徒はこれまで、歌唱分野では「We'll Find The Way」という対位的な同声二部合唱や「主は冷たい土の中に」などの単旋律、そして「Let's search for Tomorrow」の混声三部合唱を教材として、音楽を形作っている諸要素の働き[共通事項]を支えとし、楽曲のもつ面白さや美しさに気づき、表現を工夫する学習活動を行ってきた。歌詞の音読により、詞の内容で最も伝えたい部分について、譜中ではどう表記されていて、どう表現したらよいか気づく学習を進めてきた。生徒は、個人としての思いや考えをもち、課題を解決することはできる。しかし、自分の考えに音楽的な根拠をもちながら交流し、学級全体としてどう表現したらよいかという方向性を決めるところまでは至っていない。

そこで本題材では、各生徒が感じたことと音楽的価値について、交流する活動を通してお互いの思いや意図を認め合い、曲にふさわしい表現の工夫について、音楽的な根拠をもって表現し、伝えようとする力を育てたい。

(3) 指導について

この教材の前半と後半の明確な対比（旋律の順次進行と躍動進行、リズム、強弱、ピアノ伴奏、斉唱と二部合唱など音楽的要素の対比明確）が、詩の内容と関わって曲想が大きく変わることを、譜中の音楽記号の変容や伴奏の違いを聞き比べることを通して感じ取らせたい。楽譜に記されている音楽に関する用語や記号の subito, スタッカートなどについては、音楽用語の理解だけでなく「なぜ、この歌詞にこのリズムがつけられたのか」「このフレーズにつけられている用語や記号には、作曲者のどのような意図がこめられているのか」などを交流させることによって、後半部におけるふさわしい表現を考えさせたい。また、具体的な違い（旋律の順次進行と躍動進行、リズム、強弱、ピアノ伴奏、斉唱と二部合唱など）について、共通事項を基に知覚し感受したことを支えとしながら、生徒たちが自らの力でその働きと表現の関連を感じ取れるようにしたい。さらに、音楽を形作っている要素を基に、他者との交流を図りながら歌唱表現の工夫へとつながる思いや意図をもてるようにしていきたい。

3 題材の指導目標と評価規準

(1) 題材の目標

- 「この日々を、この時代を」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。
- 「この日々を、この時代を」の詩の内容と曲想のかかわりについて、旋律やリズム、強弱等をもとに知覚・感受し見取、表現を工夫する。
- 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。

(2) 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
<p>① 「この日々を、この時代を」の歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>② 「この日々を、この時代を」の音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役割や、全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>① 「この日々を、この時代を」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 「この日々を、この時代を」の声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 「この日々を、この時代を」の創意工夫を生かし、歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p> <p>② 「この日々を、この時代を」の声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能（発声見取、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など）を身につけて歌っている。</p>

4 題材の指導計画（全4時間）

時	主な学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 ◆方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「この日々を、この時代を」の歌詞の内容を理解し、曲想などに関心をもつ。 ・範唱を聴き曲全体の雰囲気をつかむ。 ・パートの旋律を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み、作詞者の最も伝えたいであろう語を選ばせ、範唱を聴き関心をもたせる。 ・音楽表現のために必要な発声、発音に気をつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 【関心・意欲・態度】① ◆ 行動観察見取、学習シートの「調べよう」を見取る。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・前半と後半の音楽を形作っている要素（旋律、リズム、強弱、ピアノ伴奏、構成）について比較する。 ・音楽の諸要素の働きと、詩との関連を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半と後半の対比から、音楽の諸要素の違いが詩の内容とつながっていることを感受させる。 ・1～3番の出だしを、同じ旋律で歌うことができることに気づかせ、作曲者が後半を変えた意図を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 【関心・意欲・態度】① ◇ 【音楽表現の創意工夫】① ◆ 行動観察・学習シートの「比べよう」を見取る。
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・後半について、音楽を形作っている諸要素の特徴を生かした、歌唱表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている諸要素を根拠として、個々に思いや意図をもたせる。 ・グループ内で交流させ、表現の工夫についてまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 【関心・意欲・態度】② ◇ 【音楽表現の創意工夫】① ◆ ホワイトボード意見・学習シートの「工夫したいところ」を見取る。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容をもとに、工夫したい項目を明らかにする。 ・グループごとに練習し、まとめの合唱をする。 ・学級としての表現を、考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を生かすための具体的な項目となるように考えさせる。 ・グループ内での話し合いや練習が、効率的に進められるよう声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 【音楽表現の創意工夫】② ◇ 【音楽表現の技能】①② ◆ 行動観察・学習シートの「学級全体で工夫したいところ」を見取る。

5 本時の構想

(1) 本時の目標

音楽を形づくっている要素を基に、歌詞の内容や曲にふさわしい歌唱表現を工夫する

(2) 本時の評価規準

観点	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	支援を要する生徒への手立て
関心 意欲 態度	曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に、どのように合わせて演奏するかについて見取、思いや意図をもって主体的に取り組んでいる。	曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。	対比から得た思いや意図を確認し見取、工夫するための手立てを助言し見取、話し合いの場で
音楽 表現 の創 意工 夫	音楽を形づくっている要素（リズム・旋律・強弱・形式・構成）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って、曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。 例えば、後半の歌詞で「友達を思うとき」のPを効果的に表現するために、前小節のcrescendoをはっきり表現したいと考えている等。	音楽を形づくっている要素（リズム・旋律・強弱・形式・構成）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。 例えば、後半の男声パートの「そして明日へ」の部分について、ピアノ伴奏のリズムを意識し、未来へと高まっていく気持ちを歌いたいという意図をもっている等。	仲間の考えを参考にできるよう声かけをする。 音楽を形づくっている要素（リズム・旋律・強弱・形式・構成）について、板書やワークシートで指示し、理解できるように促す。

(3) 本時の指導構想

本時の授業では、「この日々を、この時代を」の後半部について、音楽を形づくっている諸要素と歌詞の内容を関連させながら見取、曲にふさわしい表現の工夫について考えさせたい。

この教材の前半と後半の明確な対比（旋律の順次進行と躍動進行、リズム、強弱、ピアノ伴奏、斉唱と二部合唱など音楽的要素の対比明確）が歌詞の内容に要因するものであることに気づき、それを生かした表現の工夫はどうあればよいかについて、ペアやグループ、学級で交流させることにより、音楽的な根拠に基づいた様々な見方や考え方に触れさせ、曲にふさわしい表現を工夫するためのより良い方法について、歌いながら確かめさせたい。

(4) 本時で用いる仮説の手立て

今年の6月28日に全教科に全校生徒を対象にアンケート調査を実施した。音楽の「話し合い」に関わる結果は、次の通りであった。

アンケート項目	1年	2年	3年
5 「授業中、自分の思いや考えを発表しやすい」とするプラス傾向の回答	85.4%	57.0%	53.2%
6 「授業中、ペアやグループで話し合うことが好きだ・どちらかといえば好きだ」とするプラス傾向の回答	82.9%	68.1%	48.4%
8 「授業中、他の人の意見を聞くとき、自分の考えと比較しながら聞いている」とするプラス傾向の回答	83.0%	46.8%	48.5%
10 「授業中、話し合う活動があると学習への意欲が高まる・どちらかといえば高まる」とするプラス傾向の回答	83.0%	57.4%	46.9%

アンケートの結果から、学年が進むにつれ「話し合う活動」に肯定的な意識をもつ生徒が少なくなっていることがわかる。個人では見取、思いや考えをもって課題の解決に取り組むことはできるが、自分との比較をし、考えを交流することで音楽を創るという協同の学習活動において、十分ではないと考えられる。そこで、自分の思いや考えに根拠をもち、他との交流により豊かに表現するために、ペアやグループでの話し合い活動の充実を図りたいとした。

ア 仮説（1）② 見方・考え方を働かせるような条件や状況の提示

音楽を形づくっている要素を見方・考え方と関わらせながら、前半と後半の対比、そして後半部の表現の工夫において諸要素の活用により、思いや考えをもたせることを状況の提示とした。

イ 仮説（2）① 自分の意見に根拠をもたせるために、他との相違点・類似点を明確にさせる

「曲にふさわしい表現方法はどうあればよいか」について、意見の交流ができる場をペアやグループ、学級と必要に応じて形態を変えて設け、様々な見方や考え方に触れさせながら他との相違点・類似点を明確にさせ、音楽的な要素を根拠とする自分の考えをもたせたい。

(5) 本時の展開 (3/4時間)

段階	学習内容	学習活動	形態	指導上の工夫および留意点 ◇本時のねらいの評価 (観察・ワークシート見取, WB) ☆研究仮説の実践
導入 (10分)	1 前時の振り返り 2 前半と後半を比較 3 学習課題の確認	<ul style="list-style-type: none"> 「この日々を, この時代を」を合唱する。 歌詞や音楽を形作っている要素の違いを見つけ, ワークシートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 詞「集う→歩む→思う」「森→川→星」 強弱記号m p → p 見取, 等。 </div>	全体 個人 全体	<ul style="list-style-type: none"> 不確かな音を確認させる。 前半と後半の相違点について, 音楽を形作っている要素と詩の関わりについて, 確認させる。
<学習課題> 詩と音楽記号に着目して, 曲の後半の表現を工夫しよう。				
展開 (30分)	4 課題解決 (1) 自分の考えをもつ (2) 考えをグループ内で交流し, 歌って確かめる。 (3) グループの考えを全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素のリズムや旋律, 強弱等について, 前半と後半を比較する。 工夫したい部分について考える。 <ul style="list-style-type: none"> グループ内で考えを出し合い, 様々な見方や考え方をホワイトボードに記入し, 交流する。 考えをもとに歌い, 曲にふさわしい表現になっているか確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 強弱記号が P なので, 声量を抑え, 言葉をはっきり出して歌いたい。 後半部の歌詞が未来につながっている, 曲の後半を歌いたい等 </div>	個人 グループ グループ	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形つくる要素を可視化し見取, 着目させる。【ワークシート】の工夫したいところを見取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆仮説(1)② 【見方・考え方の提示】 順次進行と躍動進行の旋律・リズム・強弱・レガートとマルカートなど音楽を形作っている要素を使わせる。ホワイトボードに記入させる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆仮説(2)① 【相違点・類似点の明確化】 交流から自分との相違点・類似点を明確化させる。 ◇歌詞の内容や曲想にふさわしい歌唱表現はどうあればよいかを考える。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇ 根拠ある考えを, 交流することができる。 【音楽表現の創意工夫①】 </div>
終末 (10分)	5 まとめ 6 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 「全体として」どこをどのように工夫するかについて考えを出す。 後半部を合唱する。 これまでの合唱と聴き比べてみる。 <ul style="list-style-type: none"> 今日の学習を振り返り, 振り返りシートに記入する。 	全体 個人	<ul style="list-style-type: none"> 【音楽への意欲・関心・態度①】 <ul style="list-style-type: none"> ◇振り返りシートを用いて, 本時の授業の振り返りをする。

(6) 板書計画

学習課題 詩の内容と曲想から,曲にふさわしい表現を工夫しよう

歌詞

後半部分の楽譜

歌詞の変化部分

ホワイトボードを掲示

1	2
3	4
5	6

レガート マルカート ユニゾン div.

スタッカート P mf Subito

クレッシェンド

学習課題 〈 〉

○ 調べよう

曲名	
作詞者	
作曲者	
合唱形態	声 部合唱
調	調
速度	=
拍子	分の 拍子

音楽を形作っている要素
 ~知りたい記号について、メモをしよう~

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

○ 詩を読もう

この日々を、この時代を 友達と集うとき ぼくらは森になる 少しらしいの 風が吹いても くじけない 強さになる そして空へ 日差しの差す あの空へ 伸びてゆこう 伸びてゆこう それぞれに でも一緒に	友達と歩むとき ぼくらは川になる 曲がりくねった 流れの中で まっすぐな決意を持つ そして海へ 果てしない あの海へ 旅をしよう 旅をしよう ひとつずつ 波を超えて	友達を思うとき ぼくらは星になる どんなに遠く 離れていても きらめきを 信じあつて そして明日へ 今、始まる この日々を 生きていこう 生きていこう 思い出を 重ねながら この日々を この時代を
--	---	--

○ 考えよう

① いいなあと思う言葉は？	
② 大切にしたい言葉は？	
③ 作詞者がとても大切にしていると思う言葉は？	
④ この詩の中で、最も言いたいことを表していると思う言葉は？	

○ 比べよう

1番の言葉が、2番や3番でどう変わっているかを調べよう。

1番の歌詞	2番の歌詞	3番の歌詞
集う		
森		
風		
強さ		
空へ		
伸びて行こう		

○ 1番2番3番と進むと？

学習課題 〈 _____ 〉

○ 比べよう

	合唱の強弱	伴奏の強弱	伴奏の特徴	合唱形態
前半(1・2番)				
後半(3番)				

後半部分について、工夫したいところを考えよう

○ 自分の考えは？

○ グループ交流での考えは？

○ 「いい考えだ！」みんなでやりたいことは？

授業でわかったこと

.....

.....

.....

ふりかえり

.....

.....

.....